

福祉わくや

2018.11
第130号



「思いやり」や「支え合い」！福祉の心を育もう！

福祉作文・福祉ポスター・福祉標語コンクールは、町内小・中学校の児童生徒を対象に、福祉への関心を高めてもらう機会として毎年開催しています。

入賞作品は、本紙2ページから4ページに掲載しています。
また、2019年カレンダーとしても折り込んでおります。
ご活用ください。

PICK UP!

- 福祉作文・福祉ポスター 福祉標語コンクール 入賞作品紹介！ 2～4ページ
- PICK UP 社協事業 町内小・中学校で、福祉学習出前講座！ 町民福祉研修会「地域づくりと災害ボランティア」 5ページ
- 生活支援体制整備事業 先進地視察 おらほの支えあい活動（配食サービス） 6～7ページ
- ゆうらいふ通信 教えて！介護保険！その③ ～サービスを利用するにはどうするの？～ 8ページ
- むすび丸ピンバッジ、ぜひご協力を！ 北海道胆振東部地震義援金募集について 9～10ページ

学びあおう：福祉学習・人材育成等
支えあおう：住民同士の支えあい・相談支援等
通じあおう：交流連携・情報共有等

学びあおう

支えあおう

通じあおう



涌谷町地域福祉活動計画「3つの活動方針」

最優秀賞

一 作文の部 一

明るく最高の笑顔



涌谷中学校 1年
鈴木 芹来さん
すずき せら

私がこの夏参加したボランティア活動は、地域で毎年行っているゴミ拾いでした。小学生の頃などは、はずかしくてあまり参加せずにいたけれど、中学生になって心を開き参加することに決めました。

当日、緊張しながらも集合場所に顔を出すと小さい子どもから高い者までたくさんの方がいて、みんな笑顔で私をむかえてくれました。すごくうれしかったです。

そして、ゴミ拾いが開始されると私はビックリしました。ゴミがあちこちに散乱していて、すごく環境の悪い状態になっていました。このままでは、気分が悪くなったり、小さい子どもや高れい者などはゴミにつまづいてケガをしてしまわないだろうかと私は心配になりました。

私はさつそく、そのゴミ拾いに取り組みことにしました。他の人たちも、いっしょけんめいにゴミを拾って少しでもキレイにしようとしていてすごいなと思いました。そんなみんなの顔を見たら、絶対にキレイにしたい！という気持ちでいっぱいにな

りました。

作業を始めて約一時間経ち、周りを見回してみると、最初の場とは思えないほどにキレイになっていて私はすごく感激しました。汗をたらしながらもがんばったかいが、あったと思います。

参加者を見てみると、誰もが笑顔に満ちていて、その場の空気は本当におだやかですごくいやされました。やっぱり、ボランティア活動はみんなを笑顔に、キレイな心に、幸せな気分にすると思います。

どうして今まで地域のボランティアなどに参加をしなかったのか私は悔いを残しました。もっと早く参加していたら、人の役に立てていたかもしれないのに、むだにはずかしがつて地域の力にならなかった自分が今すごく残念に思います。だからこそ、これからははずかしがらずに、何事も進んで引き受けて、人とのつながりを深め合ったり、環境問題についてもいろいろ考えて、住みやすい場所を作っていきたいです。

私が何より考えているのは、小さな子どもたちでも安全に遊べて、楽しく過ごせる、そんな場所を作りたいということです。まだ私のような年では、そこまで大きなことはできません。でも、小さいことや、いろいろな事に挑戦していつて、いつか地域の人みんなが明るく最高の笑顔でほえむことができるようにしたいと思っています。

一 ポスターの部 一



涌谷第一小学校 4年
遠藤 志保さん
えん どう しほ



一 標語の部 一



涌谷中学校 2年
中野 英飛星さん
なかの ひとせ

さしのべる
その手が福祉の
第一歩

優秀賞

一 作文の部 一

ちからをくれる三つのこと



涌谷中学校 1年
佐々木 心桜さん

私に力をくれたのは三つのことです。

一つ目は、困っているときに声をかけてくれるということです。例えば急におなかが痛くなったときに「大丈夫？」と声をかけてくれると安心することが出来ます。あるいは、道に迷って困っている人に道を教えてあげたら感謝されたということがありました。相手に「ありがとう」と言ってもらえて二日中、良い気持ちで過ごすことができたという経験があります。

二つ目は、悩んでいるときに相談にのってくれるということです。例えば入学したばかりで新しい友達と仲良くなれるか不安なときに話を聞いてくれると心が軽くなりました。そして私も、ちがうクラスで話すのが苦手だという子と友達になりました。いつも一人でいるので私と話せて「うれしかった」と言っていて笑ってくれたとき、私もうれしくなりました。その子はそれから、休み時間も一人で過ごすことがなくなり話す友達もたくさんできたと言っ

ていました。一人のとき、困っている様子に気づいて相談にのってあげて良かったなと思ったし、私が特別なことをしなくても話を聞いてあげるだけで友達の悩みも解決できてよかったと思いました。

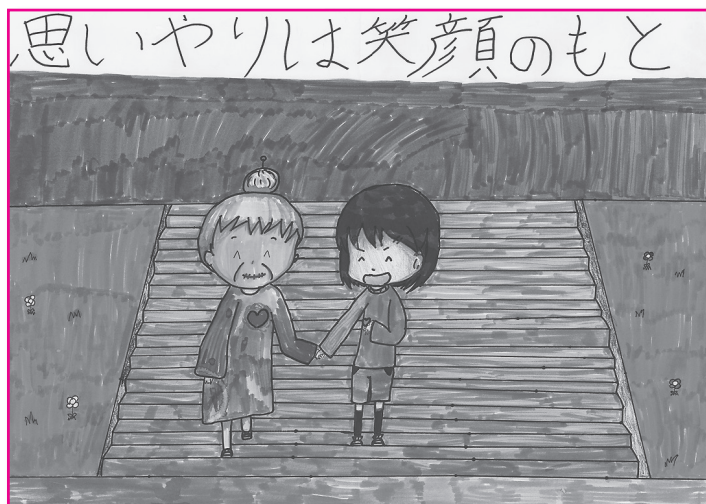
三つ目は、何も言っていないのに進んで手伝ってくれるということです。例えば提出物を運ぶのに量が多すぎて運べないというときに「一緒に持つよ。」と声をかけて手伝ってくれる人がいると助かるし、うれしく思いました。そして私も、友達が重そうな荷物をもっているときに、手伝ってあげたら「ありがとう」と、感謝されました。私も同じことを経験しているので、これをつなげていけたらいいなと思ったし、これから手伝ってもらってよい気分になった人が、困っている人がいたら手伝おう!!と思えるようにしていけたら助け合いの輪が広がるのではないかと思います。

この「声をかける」「相手の話を聞く」「手伝う」の三つを実践していくことによってだれかを安心させたり、だれかの心を軽くしてあげることが出来ます。そしていいことをして感謝されると自分も幸せな気分になることが出来ます。そうすると声をかけたり話を聞いたりした人もお互いに笑顔になることができます。これをつなげていけば笑顔あふれる世の中になるのではないのでしょうか。お互いに助け合い、笑顔で過ごすことができるように発信できる人になりたいと思います。

一 ポスターの部 一



涌谷第一小学校 6年
氏家 詩音さん



一 標語の部 一

あいさつは

こころつながる

だい いっぱ

涌谷第一小学校 6年

大友 汐菜さん

優良賞

一 作文の部 一

障害のある人達が



涌谷中学校 1年
遠藤 綾也さん

私が夏休みに家族と出かけていた時、道には点字ブロックがありました。私は点字ブロックは目の不自由な人のためにあることを知っていたので点字ブロックは踏まないように歩いていました。

その時、自動車が点字ブロックにはみ出ているのが見えました。もし、そのままにしていたら目の不自由な人にどんな影響がでるのか心配で見ていると、ある女の人のがはみ出していた自転車をなおしているところをみました。そして思ったのは、どうして障害のある人がもつと不自由になるのかという事です。点字ブロックは不自由な人のために作られたのに、自転車をはみ出していたり、点字ブロックをふんでいる人がいたり、点字ブロックがある所にゴミを捨てたりする人がいたら、点字ブロックの意味がありません。ますます不自由になるばかりです。

そこで私はどうしたら不自由な人を困らせたりしないか考えました。一つ目は、不自由な人達に意見を

聞いて、その意見を生かすことです。

二つ目は、不自由な人が困っているという事を伝えるポスターを作ることです。そうすれば困っている人の思いが伝わると思います。その二つをすれば一人二人の意識が変わって、困っている人が少しずつ少なくなると思います。もちろんこの二つは私だけできる事ではないけれど、大人になつたら少しでも役に立っていく人になれるようにして、不自由な人や困っている人のために働く人になりたいです。

私はその夏の出来事で困っている人がいる事を知り、自分のしなければならぬ事が分かりました。

一つ目は、もし町で自転車が点字ブロックにはみ出していたりしたらなおしたり、ゴミが落ちていたら拾う事です。

二つ目は、大人になつたら司書になるつもりですが、司書になり福祉の本の読み聞かせ会をするときに、困っている人がいる事を少しでも分かりやすく子供に教えてあげる事です。

この出来事をいかしてこれからの生活に生かし、将来につながるようにしていきたいです。

一 ポスターの部 一



籠岳白山小学校 6年
及川 琉衣さん



一 標語の部 一

「大丈夫？」

ひと言かける

優しさを



涌谷中学校 3年
千葉 紋郁さん

PICK UP 社協事業

涌谷中学校

「福祉とは？」
みんなで話し合っ
て考えよう！



手話を学ぼう！



箕岳白山 小学校

お年寄りとふれあい！



月将館小学校

視覚障がいについて学ぼう！



キャップハンディ
体験！

涌谷第一 小学校



福祉の花を 咲かせよう！

～福祉学習出前講座～

町内小・中学校において、社協職員、障がいのある当事者、ボランティアが講師となり福祉学習を行いました。

学びあおう



講演では、東日本大震災以前から取り組んでいる防災・減災活動について紹介していただきました。そして、震災時から現在までの活動を通じて、「日ごろのコミュニティを大切にすることが一人の犠牲者も出さないための減災活動につながる」といったお話をいただきました。

参加者からは「地域づくりの参考になった」「自主防災組織の活動の参考にしたい」といった感想があり、ふだんのつながりの大切さを再認識する機会となりました。



学びあおう



ふだんのつながりが減災に！

～町民福祉研修会

「地域づくりと災害ボランティア」

10月4日



全国的に注目されている防災・減災活動を行う仙台市宮城野区福住町町内会長の菅原康雄氏を講師にお招きし、研修会を開催しました。



おらほの町の「見守り」「集いの場」 「生活支援」について考え中！！



わくや地域まると会議 分科会

9月26日・10月3日

「見守り」「集いの場」「生活支援」について各々の分科会で構成員の専門性を活かした検討を行いました。

誰でもいつでも気軽に集まれる居場所の必要性、地域資源の整理と可視化、見守り活動の再構築など、涌谷町の10年後、20年後の地域社会の姿を考え合いました。

先進地視察研修会

10月26日

わくや地域まると会議のテーマの1つである「集いの場」づくりに取り組んでいる「糠野目と茶の間」(山形県高畠町)へ視察研修を行いました。

高畠町では計画的に地域包括ケアシステムの構築が進められており、その一翼として常設型の居場所づくりに取り組んでいました。運営は住民主体により行われており、涌谷町における生活支援体制整備に向けて多くの学びとなりました。



※生活支援体制整備事業（介護保険法第115条の45【地域支援事業】）を涌谷町から受託し、生活支援コーディネーターの配置及び協議体の設置・運営を行い、地域福祉活動の推進及び生活支援の体制整備に取り組んでいます。

おらほの

支えあい活動（配食サービス）

支えあおう



現在、地域で配食サービスを行っている二つのボランティアグループを紹介します。
どちらも一人暮らし（日中一人暮らし含む）の高齢者の方等を対象とした活動です。

サルビア会

9の2区

頻度：5月、9月、11月、2月の年4回
金額：300円

サルビア会のメンバー手作りのお弁当は、その名も、まごころ弁当！手書きのお品書きが添えられたお弁当には、名前の通り、真心がたっぷり込められています。お届けしたときに「朝ご飯食べないで待ってたよ！」と仰る方もいるくらい好評です。お届け後はメンバーの皆さんも同じメニューを食べ、懇談を楽しみます。仲間がいて、自分も楽しい活動だからこそ、20年も続く息の長い活動になっています。



白百合の会

吉住区

頻度：1月、8月を除く毎月12日
金額：200円

平成6年から、ずっと続いている活動です。場所は地域のお寺（龍澤寺）をお借りし、材料も持ち寄って足りないもののみ購入することで、金銭的な負担を極力減らす工夫をしており、それが継続の秘訣です。お届けの際には、区長さんや民生委員さんに協力してもらい、安否確認も兼ねて必ず会話をしています。お弁当には手書きの絵手紙も添えられ、季節を感じることができます。





黄金区敬老会



小里区「目指せ！元気100歳活動」



城山区健康教室



八雲区芋煮会



2の2区
お茶っこ飲み会
(脳力アップ倶楽部)



笠岳区お茶っこ飲み会
(脳力アップ倶楽部)



9の2区
昔の歌を聴く会



脇区ゲラウンドゴルフ大会
(世代間交流)



● 地域の行事で役立つ物品を貸し出します！ ●

的当て！ ストライクナイン！



9つの的に当たると、ボールがピタッとくっつきます！12球でいくつ命中させられるか競い合うゲームです。

この他にも様々な物品を揃えています。数に限りはございますが、まずはお気軽にお問い合わせください！

行事で役立つテント！



各種行事や防災活動で活躍する行事用テントを貸し出しています！ぜひ、ご活用ください！

イベント物品	行事用テント、はっぱ、紅白幕、発電機 など
レクリエーション物	ストライクナイン、スカットボール、輪投げ、射的、ディスコン、ミニカーリングセット、お手玉、ラダーゲッター、思い出カルタ、カラーボウリング、ソフトジムボール、ゲームレール など

問合せ ☎43-6661 (担当：地域支援係)

～わたしたちは、あなた「**ゆう**:You (利用者:家族:地域住民)」と共に、
あなたの生活「**らいつ**:Life (人生:生命:生涯)」を大切にします～

ゆうらいつ
社会福祉法人 涌谷町社会福祉協議会

通 信

おしえて！介護保険！
その③

申請 > 認定 > 利用

サービスを利用するにはどうするの？

「介護認定結果が記載された
保険証が届いたけど、
どこに相談すればいいのかな」



要介護1～5と認定された方

要支援1・2と認定された方

施設サービス

(特別養護老人ホーム、
介護老人保健施設 等)

①希望する施設に直接申し込みをし、入所が決定したら施設と契約をします。

②施設の介護支援専門員がケアプランを作成します。

③ケアプランに基づき施設サービスが提供されます。

居宅サービス

(訪問介護・看護、通所介護・リハビリ
ショートステイ、福祉用具貸与 等)

①居宅介護支援事業所と契約を結び、介護支援専門員^{※1}にケアプラン^{※2}の作成を依頼します。

②ケアプランに基づき、サービス事業所との調整が行われます。また、自宅等で、本人、家族、サービス事業所等で担当者会議を行います。

③各サービス事業所と契約をし、サービスの利用がはじまります。

介護予防サービスと 総合事業

①地域包括支援センター^{※3}にケアプランの作成を依頼します。

- ※1 ケアプランの作成や介護の相談などを行う専門職です。
- ※2 本人や家族等の希望を聞き取り、本人に適したサービスを提供するための計画書です。
- ※3 涌谷町地域包括支援センター
☎43-5111 内線514 (町民医療福祉センター内)

非該当となった方

一般介護予防事業(地域支援事業)を利用することができます。

介護に関する不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

問合先 ☎43-6662 (担当：ゆうらいつ居宅介護支援サービス)



受講生 菅原淳子

「研修を終えて」
今まで介護に対してあまり関心はありませんでした。しかし、自分の親の病気や介護を身近に感じ、これからのことを考え、学んでみようと思いました。
実際に学んでみて、介護とは「自立を支援するもの」だと知りました。そして、人との関わりや声がけ、信頼が大切だとわかりました。
これから学んだことを思い出しながら、今後に役立てていきたいと思っています。

介護職員初任者研修講座
6月19日から9月28日まで、宮城県指定介護職員初任者研修講座を開講しました。受講生10名が資格を取得しました。

共同募金からのお知らせ

平成30年度 赤い羽根共同募金運動 街頭で募金呼びかけ！



10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が展開されております。

涌谷町では、涌谷町社会福祉

協議会役員はじめ、涌谷町ボランティアの会役員、涌谷ブルースターズ(少年野球)の皆様にご協力いただき、イオンスーパーセンター涌谷店とヨークベニマル涌谷店で街頭募金を実施し、赤い羽根共同募金運動の啓発と協力を呼びかけました。

平成30年7月西日本豪雨 義援金のご協力、 ありがとうございました。

平成30年7月に発生した西日本豪雨の復興の一助として義援金の募集を行ったところ、地域住民の皆様より多くのご協力をいただきました。

皆様のあたたかい気持ちと復興への祈りが込められた義援金は、中央共同募金会を通じて、全額被災地へ配分されます。

皆様のご協力ありがとうございました。

平成30年7月西日本豪雨義援金

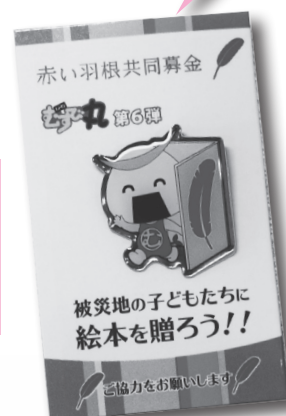
83,860円

平成30年9月30日付終了



むすび丸との
コラボピンバッジ！
被災地の子どもたちに
絵本を贈ろう！

募集！



応援価格

500円

(平成31年3月31日まで)

宮城県共同募金会では、県観光キャラクター「むすび丸」とコラボしたピンバッジを頒布し、被災地の児童施設や団体等へ絵本を贈る事業を行っています。

涌谷町共同募金委員会(事務局：涌谷社協内)では、窓口としてコラボバッジを取り扱っておりますので、皆様のご協力をお願いします。

問合せ ☎43-6661(担当：総務企画係)

平成30年^{いぶり} 北海道胆振東部地震 義援金の募集について

平成30年9月の北海道胆振東部を震源とする地震により、各地で甚大な被害が発生しました。

涌谷町共同募金委員会では、被災者支援の一助のため、義援金の募集受付を行います。

▽口座振込での募金

ゆうちょ銀行 00170-8-635111

北海道共募 北海道地震災害義援金

※窓口からの振込手数料は無料。

▽現金での募金

涌谷町共同募金委員会(事務局：涌谷社協内)にて受付いたします。

問合せ ☎43-6661(担当：総務企画係)

参加者募集

介護予防事業

長寿お達者教室

運動やレクリエーションを通して、身体機能の維持や認知症予防を目指します。多くの方の参加をお待ちしています。



開催月日		場 所
12月3日	1月7日	涌谷公民館
12月5日	1月23日	ゆうらいふ
12月13日	1月10日	麓岳地域ケアセンター

※平成30年度は1月開催で終了。

開催時間：午前10時から午前11時30分

参加費：1回200円

※申込は必要ありません。

持ち物：運動しやすい服装、
屋内用上靴、タオル等

問 合 先：☎43-6661（担当：地域支援係）

子育て支援事業

エプロンおばさんと遊ぼう広場 クリスマススペシャル

日 時：12月6日(木) 10時～11時30分
場 所：涌谷町高齢者福祉複合施設「ゆうらいふ」
対象者：未就学時と保護者
内 容：ハンドベル、劇、ペーパークラフト等
参加費：無料＆申込不要です。

問合先：☎43-6661（担当：地域支援係）

心温まる善意ありがとうございました

（平成30年9月8日～平成30年11月7日まで）

寄付金

- 日本民謡香湧会 様 30,000円
- 上郡1区 杉崎 啓志 様 5,000円

寄付物品

- 匿名 様 醤油(1.8ℓ)2本
- 協 区 伊藤 勝秋 様 新米60キロ
- 1 1 区 佐藤 義昭 様 新米90キロ
- 成 沢 区 小野寺美紀子 様 スプーン160本

一人で悩んで いませんか？

介護が大変で...

毎日の生活が大変だけど、
どうしていいか...



収入が少なく
今後の生活が不安...

人間関係や
職場環境で悩みが...

ひとりで悩まず、まずはご相談ください

生活相談所 開設時間 13:00～15:00

開設月日	場 所	
11月28日(水)	麓岳地域ケアセンター	相談室
12月26日(水)	ゆうらいふ	相談室
1月23日(水)	麓岳地域ケアセンター	相談室

開設日以外にも相談をお受けします。お気軽にご連絡下さい。

問合先 ☎43-6661（担当：地域支援係）

編集後記

今号の福祉作文・ポスター！
標語を見ても、人は本来福祉
の原点である「思いやりの心」
を持っていることが伺われま
す。作文を読むと、思いやりの
心を行動に移すにはさらに
一歩を踏み出すことが必要な
ようです。
小塚に慶念坊の墓があり、
入口の案内板に「福祉の原点」
の人と紹介がありました。江
戸や明治の時代に、福祉の原
点の人が涌谷に実在していた
ことに驚きを覚えます。制度
的に充実しているように見え
る現代にも、慶念坊の心と行
動力が必要であると感じまし
た。

広報委員

ボランティアグループ
「555の会」
朗読テープの貸し出し
町広報・社協だよりの
朗読テープを無料で貸し
出しています。視覚障が
いの方、介護者の方な
ど、お気軽にご利用くだ
さい。
☎43-6661
（担当：地域支援係）